

契約監視委員会議事要旨

1. 日時

平成30年6月15日（金） 10:00～12:00

2. 場所

独立行政法人 航空大学校 第二応接室

3. 出席委員

（委員長）辻 利 則	（宮崎公立大学教授）
濱 田 諭	（弁護士）
清 家 秀 夫	（公認会計士・税理士）
時 任 勝 正	（独）航空大学校 監事）
本木下 愛子	（独）航空大学校 監事）

4. 議題

平成29年度 契約の点検
（件名は別添のとおり）

平成29年度調達等合理化計画の取組実績及び取組に対する自己評価について

平成30年度調達等合理化計画について

5. 議事内容

主な意見質問は以下のとおり

・平成30年度航空大学校入学第二次試験身体検査について

質問) 仕様書の内容に“航空業務に支障を来する恐れのある”という文言を良く見るが、検査などの内容については普通の病院でもできるような部分があるようにも思える。可能であれば、応札者を多くするためにも検診と分析を分割して契約するといった手法ができないのか。

回答) 2次試験については、第一種航空身体検査の基準に基づいて行っており、航空身体検査マニュアルというものに基づいて行っている。“航空業務に支障を来す恐れのある”検査についてはすべて航空身体検査医が確認を行っている。

質問) その確認は普通の医師ではなく、何らかの資格を持った人でないとできないということか。

回答) そうである。過去他社が行った実績もあるが、当校のように多くの人数の検査を行う事ができる会社が少ない。

・航空大学校帯広分校学生寮増築その他工事他2件

質問) 当初、学生寮と格納庫を一体工事として入札を行い入札不調となったということだが、一体工事にしないといけない理由があったのか。学生寮と格納庫を分割しておけば入札不調を防げていたのではないか。

回答) どちらも建築工事であり、RCか鉄骨かの違いくらいしか無いため、無理な工事ではない。一括で発注するほうがより合理的でもあるので、当初から分割発注するという事は通常考えにくい。

・入札公告について

質問) 一者応札の改善について、公告を目にする機会を増加させるためホームページの充実を図るとのことだが、自治体だと競争参加有資格者のリストがあり、リスト記載の業者全てに公告案内のメールを行っている。そういうことを検討してみるのはいかがか。

回答) 国も競争参加資格があり、登録制度にはなっているが、日本全国が対象で何万社も登録されている。特定の社だけに通知するというのは良くないので、登録されている業者全てへの案内は難しい。

意見) 何万社全てが対象の案件は無理だと思うが、ある程度理由が整理できるような案件については、業者を選んで案内するというやり方もあると思う。

【審議結果】

平成29年度契約については、適正な事務手続きが行われていることを確認した。なお、一者応札改善のため参考意見として、航空大学校の事務事業運営に支障をきたさない範囲で、複数年契約の導入や一括契約の分割発注も一つの契約方法として今後検討願いたい。また、調達等合理化計画の取組については着実に実施されたことを確認した。

平成29年度 契約の点検

(1) 3ヵ年連続した一者応札案件 (8件)

本校航空機保守
帯広分校A36型航空機保守
仙台分校航空機保守
平成29年度 会計システム運用支援業務
平成29年度 航空ガソリン青森空港機上渡しの購入
平成29年度 スピン訓練委託
平成30年度 航空大学校入学第二次試験身体検査
帯広分校除雪作業

(2) 新規随意契約案件 (7件)

4～5月期本校航空機保守
4～5月期帯広分校A36型航空機保守
4～5月期仙台分校航空機保守
4～5月期帯広分校SR22型航空機保守
航空大学校帯広分校学生寮増築その他工事
航空大学校帯広分校格納庫建屋等増築工事
航空大学校帯広分校格納庫建屋等建築工事監理業務委託